

藤家原子力委員会委員長代理の海外出張について

平成12年9月26日

原子力調査室

1. 出張先

米国、ベルギー、ドイツ、フランス

2. 出張の期間

2000年10月3日（火）～10月15日（日）

3. 目的

米国での DOE(米国エネルギー省)との日米原子力研究開発協力に関する協議を行うとともに、US-Japan Work Shop（通称サンタフェセミナー）、欧州での国際会議（プルトニウム2000）及び OECD/NEA 運営委員会に出席する。また、米、仏及び独の政府関係者と、今後の原子力研究開発協力等についての意見交換を行うとともに、現在、原子力委員会で策定中の原子力長期計画に関して説明を行う。

4. 日程

10月3日（火） 成田発 → シカゴ経由ワシントンDC着

10月4日（水） DOE との日米原子力研究開発協力に関する協議：

10月5日（木） サンタフェセミナー出席

10月6日（金） サンタフェセミナー出席

10月7日（土） ワシントンDC発

10月8日（日） ベルギーブラッセル着

10月9日（月） プルトニウム2000 出席、ブラッセル発 → ドイツカールスルーエ着

10月10、11日（火、水） カールスルーエ研究所（FZK）訪問

ケスラー氏（元原子炉安全委員会委員）との会談

ホイスナー氏（FZK, 原子力安全担当）との会談

フェーター氏（FZK, 核融合担当）との会談

10月12日（木） カールスルーエ発 → フランスパリ着

OECD/NEA 運営委員会出席

10月13日（金） CEA 訪問

コロンバーニ CEA 長官との会談（調整中）

ペラ CEA 最高顧問との会談

10月14日（土） パリ発 → 成田着（15日）

－ 以上 －